

南日本U－12サッカー2025年大会要項

1 趣 旨

サッカーに親しむ子供たちの技術向上と心身の育成・発達を図り、大会を通して親睦を深め、相互の友情の輪を広げるとともに、正しくそして創造力豊かな人間を育成しスポーツ振興に努める。

2 主 催

南日本U－12サッカー大会実行委員会、鹿児島市、南日本新聞社

3 主 管

鹿児島市スポーツ振興協会、鹿児島市少年サッカー連盟

4 後 援

鹿児島県スポーツ協会、鹿児島県サッカー協会

5 特別協賛

鹿児島銀行、鹿児島トヨペット

6 協 賛

(調整中)

7 協 力

鹿児島市船舶局(桜島フェリー)

8 大会期日

令和7年11月1日(土)～3日(月・祝)

9 会 場

南栄リース桜島グラウンド、南栄リース桜島広場、鹿児島ふれあいスポーツランドクレイ広場
七ツ島公園広場

10 参加資格

- (1) 日本サッカー協会第4種、又はスポーツ少年団登録しているチーム及び選手を原則とする。
- (2) 上記(1)の条件を満たし、かつ、選手人数不足の場合のみ、合同チームでの参加を認める。なお、合同チームとして参加する場合は単位チームでの参加は認めない。
- (3) 選手は、(公財)スポーツ安全協会のスポーツ安全保険に加入していること。
- (4) 選手は、小学6年生以下であること。
- (5) 選手は、健康であり、かつ保護者の同意を得ていること。
- (6) 上記(1)～(5)に該当しない場合は事前に相談し、実行委員会が認めた場合は可。

11 チーム構成と条件

- (1) 1つの単位チームから、2チームまで参加することができる。
- (2) 参加チームは、(1)の場合に同時に試合が組まれても対応可能なように、それぞれが次のチーム編成の条件を満たさなければならない。

- ① チーム編成は、監督 1 名・コーチ 2 名以内・選手 20 名以内とする。
- ② 選手には、1 つの単位チームから参加する 2 チームの間で、相互に補充することはできない。
- ③ チームには、常時指導する責任ある指導者が同伴する。
- ④ チームには、主審を務めることができる審判員が必ず 1 名同行する。
- (3) チームとして応急手当の薬品等を準備する。大会中の事故に対し、主催者はその責任を負わない。
- (4) 本大会を無届けで欠場したチームは、次回の出場を認めない。

12 大会形式

- (1) 全チームを原則 3 チームのパートに分けて予選リンクを行い、各パートで順位を決定し、順位別の決勝トーナメントを実施する。参加チーム数の都合上、予選リンクが 4 チームとなったパートは上位 2 チームが 1 位パートの決勝トーナメントへ進出する。決勝トーナメントでは 3 位決定戦は行わない。
- (2) 予選リンクの順位決定方法は、勝利 3 点、引分 1 点、敗戦 0 点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - ① 勝点 ② チーム同士の対戦成績 ③ 得失点差 ④ 総得点 ⑤ 抽選
- (3) 無届けで欠場したチーム及び棄権のチームは不戦敗とする。不戦勝のチームは 10 得点を挙げたものとし、不戦敗のチームの得点はなかったものとする。

13 競技規則

開催年度の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「8 人制サッカー競技規則」による

14 競技会規定

- (1) 試合時間
 - ① 40 分（前・後半各 20 分）のハーフタイムは 5 分間
 - ② 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合
 - ・予選リンクは引き分けとする。
 - ・決勝トーナメントは準々決勝までは P K 方式とし、準決勝以降については、10 分（前・後半各 5 分）の延長戦を行い、なお決しない場合は P K 方式により勝利チームを決定する。
 - ・P K 方式については、両チーム 3 人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チームの得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、キックは続けられる。
- (2) フィールドの大きさ
縦 68m×横 48～50m
- (3) 試合球
モルテン 4 号検定球
- (4) 交代ゾーン
ベンチ側タッチラインのハーフウェーラインから 3 m ずつの、全長 6 m の交代ゾーンを設ける。
- (5) ゴールポスト
少年用ゴールポスト（5 m×2.15m）
- (6) 競技者の数
 - ① キックオフ時に 8 人の競技者が揃っていること。キックオフ時 8 人に満たないチームは不戦敗とする。
 - ② 試合中、競技者が 6 人に満たなくなった場合は、その試合は成立しないものとし不戦敗とする。
- (7) 交代の手続き
 - ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り競技者となる。

- ③ 交代はボールがインプレー中、アウトオブプレー中に係わらず行うことができる。
- ④ 交代は、主審の承認を得る必要はない。但し、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れても良い。
- ⑤ 交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代回数は制限されない。
- ⑥ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ⑦ 競技者が退場を命じられた場合は、交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は補充されようとしている間は試合を停止する。また、交代要員がいない場合は、そのまま競技を続ける。

(8) ユニフォーム等

- ① 番号は、参加申込書の番号（登録番号）と同一とし、通し番号でなくてもよい。
- ② フィールドプレーヤーとゴールキーパーが交代する場合にはビブス等を用いることができる。その際、ビブスや他のユニフォームの番号が登録番号と必ずしも合っていなくても良いこととする。
- ③ 広告表示は認めない。但し、ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき、公益財団法人日本サッカー協会に承認されている場合のみこれを認めるが、本大会の協賛・協力企業と類似したスポンサー広告は禁止とする。
- ④ サッカーシューズのポイント（金属製）の使用は認めない。

(9) 審判

3人制（1人の主審と2人の副審）※ 副審は実行委員会が依頼する高校生又は大学生で対応する

(10) 懲罰

本大会中に累積警告2回を受けた選手は、次の1試合に出場できない。また、退場を命ぜられた場合は、次の1試合に出場できない。その後の処置は、本大会実行委員会にて決定する。

15 選手及び関係者の安全確保

(1) 熱中症対策

（公財）日本サッカー協会「熱中症対策ガイドライン」に基づく。

(2) 落雷事故防止対策

（公財）日本サッカー協会「サッカー活動中における落雷事故防止対策について」に基づく。

(3) 自然災害等

「表1」を基に判断及び対応する。緊急の場合は、実行委員会委員へ連絡調整のうえ決定する。

16 参加申込み

(1) 申込方法

大会ホームページより参加申込みをし、大会誌及び新聞掲載用チーム写真をメールで提出

(2) 締切日

令和7年9月3日（水）

(3) 参加料

1チーム 7,000 円

17 表彰

(1) チーム表彰

① 1位パート

- ・優勝 賞状、優勝杯、トロフィー、メダル、副賞
- ・準優勝 賞状・準優勝杯・トロフィー、メダル、副賞
- ・3位 賞状、盾、トロフィー、メダル、副賞

② 2、3位パート

- ・優勝 賞状、トロフィー、副賞
- ・準優勝 賞状、トロフィー、副賞
- ・3 位 賞状、楯、副賞

(2) 個人表彰

最優秀選手賞（1名）、敢闘賞（2名）、ベストメンバー賞（10名）

18 組合せ

組合せは、主催者側で行い、南日本新聞紙上ならびに大会ホームページで公開する。チーム都合に対する配慮（日程、会場の調整）は行わない。但し、離島チーム及び県外・海外チームは考慮する。

19 開・閉会式

- (1) 開会式 実施しない。
- (2) 閉会式 1位パートの決勝戦終了後、直ちに行う。

20 そ の 他

(1) 大会誌について

大会誌は、参加チームに大会誌を1冊配布する。その他は有料（1,000円）とする。

(2) 中止時の対応について

- ・中止等日程の変更がある場合には、大会ホームページに掲載する。
- ・参加料については、大会前に、自然災害等で中止となる場合は、原則返金する。ただし、中止を決定した時点で支出した費用等を勘案して、返金額を決定する。大会途中での中止の場合は、試合実施の有無に関わらず返金しない。返金方法は、直接受取、または銀行振込（振込手数料を差し引いた額を返金）とする。また、チーム都合による参加辞退は、返金しない。

(3) 映像・画像の撮影等について

競技者・観客等の映像・画像の撮影・配信・配布・投稿については、鹿児島県少年サッカー連盟が定めるガイドラインに準ずる。

(表1)

自然災害	判断基準及び対応方針
台 風	前日の12時までに実行委員会で決定
地 震	震度5弱以上の地震で中止
桜島の噴火	噴火警戒レベル4以上で中止